

豚コレラ対策の強化を求める意見書の提出について

本年２月６日、愛知県の農場から豚コレラに感染した豚の移動があった本県を含む４府県の農場において、豚コレラの発生が確認された。

本県では、速やかに対策本部を設置して対応にあたり、周辺住民や関係団体等の理解と協力を得て、同月８日、全頭の殺処分および埋却地への投入等の防疫措置を完了した。

国内のみならず、世界の様々な国とつながる現代社会においては、豚コレラなど家畜伝染病の発生リスクが高まっており、野生イノシシの感染拡大や農場への感染を防止するため、早期の発生原因ルートの解明やより効果的な対策の推進が必要不可欠である。

よって、国会および政府におかれては、豚コレラの感染拡大の防止に向け、下記の措置を講じられるよう強く求める。

記

- 1 大規模農場での発生や同時多発時においても適切な防疫措置を可能とするため、都道府県における獣医師の確保や技術向上に対する支援を拡充するとともに、豚コレラの発生時に、迅速に他都道府県から獣医師を確保できるような体制づくりおよび防疫作業に係る資材の広域的な備蓄・供給体制づくりを推進すること。
- 2 野生イノシシによる感染拡大防止対策を含め、県および市町村が行う豚コレラ対策に要する経費への支援の拡充を図ること。
- 3 近隣国で発生している家畜伝染病の侵入防止のため、検疫体制の強化を図ること。

以上、地方自治法第９９条の規定により意見書を提出する。

平成３１年３月２２日

近江八幡市議会議長 園田 新一

衆議院議長	大島 理森	殿
参議院議長	伊達 忠一	殿
内閣総理大臣	安倍 晋三	殿
財務大臣	麻生 太郎	殿
総務大臣	石田 真敏	殿
厚生労働大臣	根本 匠	殿
農林水産大臣	吉川 貴盛	殿
環境大臣	原田 義昭	殿